



第64回 社会貢献者の記録



公益財団法人
社会貢献
支援財団

第64回

社会貢献者の記録

目次

社会貢献者表彰とは	3
表彰選考委員プロフィール.....	4
式次第.....	5
会長挨拶.....	6
来賓祝辞.....	8
受賞者代表挨拶	10
記念写真.....	12
表彰式.....	14
祝賀会.....	22
受賞者手記 目次	27
資料編.....	90

社会貢献者表彰とは

国の内外を問わず、社会と人間の安寧と幸福のために貢献し、顕著な功績を挙げられながら、社会的に報われることの少なかった方々を表彰し、そのご功績に報い感謝することを通じてよりよい社会づくりに資することを目的とする。

第64回社会貢献者表彰の概要

【募集告知】

2024年8月より、ダイレクトメール発送、海外フリーペーパー、当財団ウェブサイト等にて

【対象となる功績】

社会貢献の功績

【候補者について】

- ・候補者には、年齢・職業・性別・信条・国籍等の制限はない
- ・日本で活動する方、もしくは海外で活動する日本人を対象とする
- ・候補者は、同種の功績により当財団の「社会貢献者表彰」を受賞されていない方とする
- ・候補となった功績と同一または同種の功績により、既に国の栄典（叙勲、褒賞）または大臣表彰等を受賞されている方は、選考の際、後順位とされる

【選考について】

選考委員会開催日：2025年1月27日

【受賞者】

受賞者：30組

【表彰式】

開催日：2025年12月1日 帝国ホテル東京

受賞者には表彰状、副賞として賞金100万円を贈呈する

表彰選考委員プロフィール (敬称略・五十音順)



内館 牧子 選考委員長

脚本家、東北大学相撲部 総監督

脚本：「ひらり」「てやんでェッ!」「私の青空」「毛利元就」「エイジハラ
スメント」ほか多数

著書：「終わった人」「今度生まれたら」ほか多数

大武 健一郎 委員

元国税庁長官

認定NPO法人ベトナム簿記普及推進協議会理事長 名誉会長

著書：「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」「税財政の本道一國
のかたちをみすえて」ほか多数



小川 記代子 委員

産経新聞社 東京本社 編集局 編集委員

久米 信行 委員

明治大学 講師

著書：「メール道」「ブログ道」(NTT出版)「NPOのためのIT活動講座
効果が上がる情報発信術」「すぐやる人だけがチャンスを手に入れる」ほか多数



吉永 みち子 委員

ノンフィクション作家、公益財団法人民間放送教育協会 会長

「ワイド!スクランブル」コメンテーター

著書：「気がつけば騎手の女房」「性同一性障害」「26の生きざま」「老い
の世も目線を変えれば面白い」「試練は女のダイヤモンド」ほか多
数

第64回社会貢献者表彰 式次第

第一部 表彰式

10：30 … 開式

- 会長挨拶
- 選考委員紹介
- 表彰状の贈呈
- 受賞者代表挨拶
- 来賓祝辞

12：00 … 閉式

第二部 祝賀会

12：20 … 開会

- 乾杯のご発声
- ご歓談

13：30 … 閉会

(2025年12月1日 於帝国ホテル東京 本館3階 富士の間)

会長挨拶

社会貢献支援財団の会長を務めております安倍昭恵でございます。

第64回社会貢献者表彰式典を開催するにあたり、まずは受賞者をご推薦くださいました皆様、日本財団そして、ご協力をいただいております関係各位に厚くお礼を申し上げます。

本日30組の表彰をいたしますが、受賞される皆様、そしてその活動を支えていらっしゃるご家族ならびに関係者の皆様に、心より敬意を表しますと共にお祝いを申し上げます。



さて、私がこの財団の会長に就任して今年で11年目を迎え、これまでに700組以上の受賞者の方々に表彰状を贈呈し、80組近く of 受賞者のご活動先を訪問させていただきました。

そのような中で、今年6月に2017年の受賞者NPO法人Babyぽけっとの設立15周年記念式典にお招きいただきました。

この団体は、おもいがけず妊娠した女性の支援と赤ちゃんの特別養子縁組を行う活動をしていて、式典にはこれまでに団体の仲介により、養子縁組した親子約400名が集まっていました。私はかつて不妊治療も経験し、養子について考えたこともあるので、その時にBabyぽけっとのような団体に出会っていたら、全く違う状況になったのかもしれない、といった挨拶をさせていただきました。

また9月には2016年の受賞者「NPO法人愛未来」が無農薬農法で支援しているパラオ共和国に行きました。食料のほぼ全てを輸入にたよる島国では卵一個が100円という値段でしたので、「無農薬農法に併せた養鶏場を始めるのは？」といったご提案もしてみました。

同じく9月に福岡でミャンマーのために最前線で活動されている受賞者7組が一堂

に会する研修会を開催しました。

クーデターや大洪水、地震に見舞われたミャンマーですが、最近はニュースでの報道も減っていましたので、ミャンマーにどのような支援ができるか、7組の皆さんに思いの丈を話していただき、意見交換ができました。その翌日には日本経済大学福岡キャンパスで講演会も行い、学生の皆さんにミャンマーの現状をお伝えすることもできました。

クーデター以降、情報の取り扱いをより慎重にしなければならない活動団体の方々にとってオフラインでの話し合いの場を設けたことをとても喜んでいただいたようです。

このような経験ができることを私はとても嬉しく思っています。本日受賞される皆様のところへも、近い将来お伺いすることがあると思いますので、その際はどうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、受賞者の皆様のご活動が、皆様の望まれている形に発展しますように、そしてご出席いただきました皆様のご健勝をお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

公益財団法人 社会貢献支援財団
会長 安倍昭恵

来賓祝辞

皆さまおはようございます。

表彰式典に参加させていただきまして、受賞された30組の皆さまがたに心からお祝いを申し上げます。

何回かこの式典に出席しているのですが、今日は、ことのほか心が暖かくなるようなお話をたくさん聞かせてもらったような気がいたします。

先ほど受賞者の代表でご挨拶されたかたのお話のとおりに思います。日本財団も皆さまの活動に支援はしておりますが、お金をどのように使うかということ、それが改めて胸に刺さったような気持ちです。規則にのっとってお金を配っているのはいけないのです。

どこかに私どもの資金を求めている人がいる、そういう人たちを探し、そういう人たちに寄り添って資金を提供し、そして世の中を良くしていくのだろうと改めて感じさせられた今日でございます。本当に皆さまがたおめでとうでございます。

NPO法人などは非常に継続性が難しいのです。税制上の問題もあつたりします。ですが、継続は力でございます。次の世代にバトンタッチして引き継がれていくように、私は祈っています。まだまだ私どもの門を叩いたことのないかたたちも多いと思います。ぜひ相談しに来てください。皆さまのご相談に対して私どもは真摯な態度で皆さまとお話をしたいと思っております。

世知辛い大変な世の中になってきました。私は最近とみに初代会長であった笹川良一の言葉を思い出します。

「この国は、経済で栄えても精神で滅びる」

とっていました。昔日本には良い社会常識があつたと思います。価値観や生活習慣を共有できる村があり、そのなかではお互いを見つめ合い助け合いながら肩を寄せ合い過ごしてきた古き良き日本。それがどこかに行ってしまいました。

安倍首相が言っていました。

「あらためて美しい日本を取り戻す」

そうです。そのためには皆さまのような方々が大勢長い間仕事を続けてくれるところに大きな光があるのだろうと思っております。



今日はことのほか本当に良い式典に出席させていただきました。珍しくふたつの株式会社さんも表彰されました。日本財団は法律上の建付けで株式会社にはダイレクトに支援することがなかなか難しいのですが、でもそれは物事の考えようでございます。

「できないことがあるならば、できないことを理由にするのではなくて、いかにできるようにするのか、それを考えましょう」

と言ったのが、二代目の会長の曾野綾子でございます。本当に楽しい日々でございました。そして三代目も85歳になり、まだ現役で活動しております

私どもは、皆さまがあつての日本財団だと思っておりますので、継続性についても心から支援したいと思います。お立ち寄りになられることを心から願って私のお祝いの言葉といたします。

本日は本当におめでとうございました。

公益財団法人 日本財団
会 長 尾 形 武 寿

受賞者代表挨拶

皆さま、おはようございます。

本日はこのような素晴らしい場で、受賞者代表としてご挨拶の機会をいただき、大変光栄に存じます。Piece of Syriaの代表の中野貴行と申します。まず初めに、このような栄誉ある賞をいただけたことに、心より感謝を申し上げます。

私たちは、シリアで教育支援をしている団体です。

今、この場には私が立たせていただいておりますが、私自身の力は微々たるものです。

10年以上続く戦争の中で、自らも傷つきながら、それでも未来に希望を託して活動している現場のスタッフ、大変な中でも「学ぼう」と校舎に来る子どもたち、そして、私たちの活動を応援し続けてくださっている支援者の皆様、活動を共にする仲間たちが主役だと感じています。

また、本日、国内外で本当に素晴らしい活動をされている方々と共に壇上に立っていることを、たいへん誇りに思います。

私たちは2016年に団体を立ち上げ、まだ10年に満たない団体です。活動を続けられたのは、悩んだ時、行き詰まった時に、驚くほど全ての先輩方がいつも親切に相談にのってくださったからです。

「社会にある問題は繋がっていて、一つの団体で解決していくものではない。皆で力を合わせて解決していく仲間だから」と、教えていただきました。もし私がお手伝いできることがあれば、是非お声がけください。

この活動の原点に立ち返る、私自身の最も大切な出会いについて、少しお話をさせていただきます。

私は小学生の頃に世界の不平等を知り、「世界を平和にしたい」と卒業文集に書き、いつか国際協力に関わりたいと夢見ました。「現実を見ろ」という言葉に夢を見失うことも多かったですが、青年海外協力隊としてシリアで活動をすることで、その夢の一步を踏み出しました。

当時のシリアは日本よりも治安が良く、医療も教育も無料で質も高い。世界30位の観光客が集まる観光国で、何より旅人を魅了したのは、人々のおもてなしです。バスに乗ったら隣の人がバス代を払ってくれて、タクシーに乗ったら目的地ではなく家に案内されて、ご飯をご馳走になる、なんて話は、シリアに行ったことがある人なら「よくあるエピソード」です。

そんなシリアで活動している村で、一生懸命、僕の活動を手伝ってくれる12歳の少女に出会いました。彼女に将来の夢を聞いたところ、「お金持ちになりたい」と言い、理



由を尋ねると「お金は天国に持っていけないから、どうやって使うかが大事。私はお金持ちになって、子どもたちの夢を叶える学校を作りたいんだ。そのために、今、勉強を頑張ってお医者さんになりたい」と教えてくれました。

「きっとできるよ！応援する！」と伝えると、彼女は「あなたのおかげで夢が持てたのよ」と言いました。「夢なんて叶わない、あなたはバカにすることなく、応援するよ、って言ってくれるでしょ。だから夢を持つことができたの」と。

実際、彼女はすごく勉強を頑張ってお優秀な成績を取っていました。きっと彼女が大きくなった時に、村を、街を、シリアという国、あるいは世界を変えるかも、って思いました。

しかし、僕がシリアから日本に帰った翌年、シリアで戦争が始まりました。その4年後には、彼女が住んでいた村の小学校の校庭は、処刑場になりました。人口の半分以上が避難生活をし、就学率は100%から6%まで低下しました。

いてもたってもいられず、シリア周辺国やヨーロッパ諸国10カ国を半年ほどかけて周り、難民として逃れたシリアの人たちや支援団体の人たちから話を聞きました。

その中で「子どもたちの夢を叶えるための学校を作りたい」と話す、シリア難民の青年と出会い、2016年から彼と共に活動を続けています。

私の活動の夢は、いつか平和になったシリアを訪れ、大人になった少女に「あなたのおかげで夢が持てたよ」と言って、子どもたちの夢を叶える学校を作った話をする事です。その思いで、今まで9年間、5万人以上の子どもたちに教育の機会を届ける活動を続けてきました。

実は今年の4月、15年ぶりにシリアに行くことができました。残念ながら、安全上の問題から、彼女の住む村には数時間しか滞在が許されず、彼女と再会することはできませんでしたが、彼女の家族とは再会し、「また帰ってくるね」と約束をしてきました。

一人ひとりの力が小さいものだとしても、パズルのように力を合わせることで、世界を平和にできる大きなチカラになる。そう信じて「Piece of Syria」という名前をつけました。

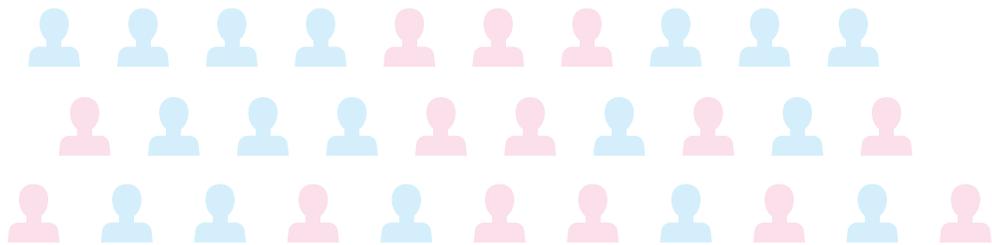
目まぐるしく変化する社会情勢で、戦争、差別、環境破壊など、「私たちは無力じゃないか」と感じさせられるようなこともたくさんあります。しかし、私たちは無力ではありません。希望をつなぐ力を、一人ひとりが持っています。一人ひとりの“ひとかけら”の想いが集まれば、きっと国を、そして世界を変えられます。

明日がより素敵になる今日を積み重ねていきましょう！

本日はありがとうございました。

NPO法人 Piece of Syria

代表 中野 貴行



- | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---------------------|-------------------------|--------------------------------|----------------------|--|-----------------------|----------------------|-------------------------------|----------------------|
| 澤村 信哉
House of Joy | 政 武文
徳之島虹の会 | 中野 貴行
Piece of Syria | 渡部 哲也
アップルファーム | 有永 美奈子
心導プロジェクト | 岸田 尚子
にほんこ農園あじうえお | 小林 幸恵
JOB JAPAN | 田中 きよむ
こころネットホップ | 吉川 雄介
Colobus | 菅原 勇也
自立支援事業所ベトサタ |
| 村島 弘子
移動支援Rena | 大倉 浩
子どもセンター・ベツビ | 小島 阿里
JOne World | 内田 信也
札幌おやこ面会交流の会
(あやの会) | 玉野 まりこ
子どもセンターめぐく | 石原 ゆり奈
Support for Women's
Happiness | 釣舟 晴一
ばれった!たけやき監獄野 | 森田 優子
シャイン・オン・キッズ | 原田 昌樹
フードバンク北九州
ライフアゲイン | 玉木 由美
YOU&MEファミリー |
| 子どもサポート 五反
大石 仁美 | 北東北捜索犬チーム
岩本 良一 | 日本動物介護センター
山口 常夫 | 八王子国際友好クラブ
北田 玲子
五三〇 | ヒカリカナタ基金
竹内 昌彦 | 会長 安倍 昭恵
社会貢献支援財団 | 山中 泰子
みずほの家 | 松川電気株式会社
小澤 邦比呂 | アジア車いす交流センター
(WHEEL) | 寺田 恭子 |
| | | | | | | | | 厚地 美香子
あつちこいち | トラスタルン創路
黒澤 信道 |



表彰式

















祝賀会

乾杯のご発声

選考委員を代表しまして吉永でございます。

受賞された皆さまがた、本日は本当におめでとうございませう。

皆様の、様々な分野で長く、そして力強い活動によって、社会の隅々に光が届く、あるいは希望が届けてくださっていることに関しまして、心からの敬意を表したいと思います。

この秋、愛子様をラオスを公式にご訪問されました。その時に日本のNPOがそこでどれだけ活動しているのかご興味を持たれ、NPO法人が運営しているラオ・フレンズ小児病院をお尋ねくださいました。その際にラオスの状況や活動のご説明をしていらっしやった赤尾和美さんは、こちらの表彰の2021年度の受賞者でした。

そのことが日本のマスコミで全国のニュースに流れました。そこでこんな活動をしている日本の人がいるのだなということが、たくさんの人に知られたということは、新しく輪をつなげるためにも大きなことだったのではないかと考えております。

昨今は強さということが喧伝されまして、そのなかで世界には日本の優しさというものが伝わってくれたら嬉しいなと考えております。

私たちがここで毎回皆さまがたに財団からお伝えしているメッセージがございます。先ほども「お金の使い方」というお話がありましたが、今日の皆さまがたの副賞のごことでございます。きっと心優しい皆さまがたはこれを活動の足しにしなくてはならない、新たな活動の何かのはずみにしなくてはならないとお思いになるかと思いますが「この副賞はぜひ皆さまがたのために使ってください」ということを毎回財団のメッセージとしてお伝えしております。とにかく皆さまがたが明るく元気でいてくださることが第一でございます。皆さまがたのお仲間を今年を振り返っていただいてもいいです。新しい年ももうすぐです。新年会で英気を養ってくださっても結構です。エネルギーをチャージして明日の活動につなげていただいたらなによりでございます。どうぞよろしく願います。

それではこれからの皆さまがたの活動と活躍そして健勝、本日ご臨席賜りました皆さまがたのご健勝を祈念いたしまして乾杯をさせていただきますと思います。

元氣にご唱和くださいませ。

乾杯！



表彰選考委員 吉永 みち子







